



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

11 月援農時間 1,808 時間（昨年同月 1,553 時間、255 時間増）、
受入農家 19 軒（昨年同月 17 軒）、参加会員 50 名（昨年同月 48 名）、
1 月からの累計援農時間 18,589 時間（昨年同月 17,372 時間、1,217 時間増）

本年はこれまで延べ 4,991 人の方が援農に参加されております。1 人あたり、8 回程
援農に参加されたこととなります。昨年は年間 4,970 人でしたので、すでに昨年を超え
ております。1 回あたりの援農時間は 3.72 時間、4 時間弱の援農となっております。

この 11 月もいそがしさが続き、援農時間が増えております。90 時間を超える長時間
援農の方は 7 名（10 月より 4 名増）となりました。疲労がたまると、風邪やインフル
エンザにも感染しやすくなってしまいます。おいしい野菜を食べ、お風呂でしっかりと暖
まり、ぐっすり寝て疲れを取りましょう。繰り返しますが、健康で安全・安心が最優先の
援農活動です。

11 月は好天が続き、野菜の生育も順調の中、先月に引き続き、白菜、ブロッコリー、
里芋、ニンジン、ネギの収穫作業が続いております。また、夏・秋野菜の片づけや来春に
向けての作業も始まっております。引き続き、寒さ対策もしっかり行い、援農への参加を
よろしくお願い致します。

最後に、この 1 年間すずしろ 22 の援農活動にご協力を頂き、ありがとう
ございました。会員の皆様が、健やかで明るいお正月を迎えることを願って
おります。そして、来年もご協力いただきますよう、よろしくお願いいたしますし
ます。
(援農サポータ 北尾)



理事会報告

12 月度理事会（12/16（木）17:30~21:00 大横保健福祉センター
にて。7 人出席）

- 個人のパソコンを会の事務作業に使用している人への損料（使用料）
について。今までは、支払いをしていなかったが、月 2,000 円/人
を支給する。対象理事 5 人。
- 令和 4 年 3/6（日）開催予定の『地域デビューパーティー
（旧：お父さんお帰りのパーティー）』に出展することとした。
会場：学園都市センターイベントホール（八王子オクトーレビル 11 階）
日時：3/6（日）13:00~16:30
- 新規農園「青空ファーム」開設に向けた今後の予定
- 市民農園利用は、3 区画を限度とする。
- 報酬の改定に伴う援農作業実績表の改定が終了し、来年度からの使用にあたり、各農家
さんへのお届け、あるいは担当窓口の方への配布（メールで送信）を行っている。
- コスモスふぁーむ：排水目的に一昨年溝を掘ったが、幅が狭く一輪車で運搬が危な
かったので、通路を拡張して、一輪車で運搬しやすくした。
- イベントの開催は、収支を見極めて決める。参加者が 3 人以下の場合は、収入よりも
経費が多くなるので中止する。
- 家族会員の年会費割引（一般 1,500 円のところ、500 円）
は、家族の定義や範囲が不明確のため、これから入会する人
には適用しない。現家族会員も 2023 年度以降は廃止する。
- 新規入会の方の見学や初回の援農に際しては、理事が同行し、
必要事項をお伝えする。



自然薯試食会を開催しました

農家会員の安留幹雄さんを講師に、12/19(日)自然薯の収穫と試食会を開催しました。

参加者21名(会員外5名、子ども1名)。参加者全員で収穫した自然薯をすりおろしてだし・生卵・しらす・あんこなど思い思いの具材を混ぜたり、落とし汁にしたりして頂きました。『自然薯とそばの店 高尾の桜』(イーアス高尾内)を運営されているアーバン(株)の佐藤様、渡辺様からも自然薯の扱い方や調理方法を教えていただきました。



援農体験記

援農に参加して

梶原町 五明 信一

梶原町在住の五明と申します。犬目町の坂本さんの畑を援農しています。私は八王子に住み始めて約10年の50代のサラリーマンです。援農を始めたきっかけは、高齢化する農家を憂い、というような高尚なものではなく、何らかの形で農業に関わってみたいという単純な思い付きからです。たまたまインターネットを検索してみたら、すすしろ22がヒットしたため登録しました。これまでの経験は、自宅の庭のプランター栽培でトマト・きゅうりを育てたくらいです。本当は、貸農園でいろいろと栽培したいという思いもあるのですが、利用料金がバカにならないというところで尻込みしております。(金銭的余裕がないということもあります)とりあえず、援農を通して、農家の作物を育てる技術やノウハウを盗めればいかな程度で参加しています。援農を初めて3カ月ほど経ちますが、これまではネギの雑草取りがはじめて、次がハウストマトの雑草取り、最近では、ハウストマトの苗植え付けのセッティングやネギやニンジンの収穫をしています。(収穫が一番楽しいです)坂本さんのポリシーは農薬を極力使用しないというスタンスのようです。それが雑草取りという長時間の作業になっているようです。



(個人的な感想ですが)しかしながら、農業を職業として

いる方にとって、高齢化と後継者不足ということからすると、機械化は進んでいるとはいえ、要所要所で体力勝負であることは体験してひしひしと感じています。

毎回、作業終了時に野菜をおすそ分けいただき、子供が多い自分としては助かっています。



野草あれこれ

カラスウリ ウリ科カラスウリ属



本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布し、林縁ややぶ地に生えるツル性の多年草。葉は五角に角張った掌状で、表面に粗い白毛が密生する。根は塊状に肥大し束になる。8月から9月にかけて、白いレースのような花を咲かせる。夕方暗くなってから開花し、夜明けとともにしぼむので、人目につきにくい。雌雄異株で、雄花は雄株に、雌花は雌株に付く。エビガラスズメという蛾が花粉の媒介をする。実は雌花

の咲く雌株にのみ付く。果実は5~7cmの卵形で、熟す前は縦じま模様の緑色だが、熟すとオレンジに色が変わり、晩秋にはよく目立つ。カラスウリの実はしもやけの薬になると言われ、果汁と果肉をすり込むようにして患部に塗って使う。種は、10mm×5mmくらいで中央に帯状のものが巻かれたような形をしていて、打ち出の小槌や大黒さまに見えるので、昔から、お財布に入れるとお金がたまると言われている。

